

略歴



マルコス・ベゼーハ・アボッチ・ガウヴォン
(Marcos Bezerra Abbott Galvão)

駐日ブラジル大使

マルコス・ガウヴォン (Galvão) 大使は—1959 年生まれ—1980 年にブラジル外務省外交官研修所 (Instituto Rio Branco) を終了し、米国ワシントン市 American University で国際関係学修士号を取得した。1980 年 9 月 2 日、三等書記官として外務省に入省する。

日本駐割を拝命するに先立って、ガウヴォン (Galvão) 大使は 2008 年 1 月からブラジル財務省で国際関係担当次官補を務め、G-20 プロセスには財務次官の資格で参加した。

ブラジル外務省に於いてガウヴォン (Galvão) 大使は事務次官補佐官、大臣次席補佐官(1982-84)、外務省報道官等(1998-2001)を歴任した。その他の政府機関に出向して大統領府次席外交補佐官(1990-92)、環境省(1993-94)および財務省(2005-2007)に於いて大臣主席補佐官を務めた。

海外勤務歴としてガウヴォン (Galvão) 大使はワシントン DC 米州機構ブラジル代表団(1984-1987 年)、アスンシオン市駐パラグアイ大使館 (1987-1989 年)、ロンドン市駐英大使館 (1995-1998 年)、ワシントン DC 駐米大使館 (2001-05 年) 主席公使(DCM)等を数える。

ガウヴォン (Galvão) 大使はブラジル外務省外交官研修所 (Instituto Rio Branco) で教鞭を取り、外交用語およびブラジル外交を担当した。

ガウヴォン (Galvão) 大使はアナ・マリア・ドリア・ガウヴォン (Ana Maria Doria Galvão) と婚姻を結び、既に成人した 2 子を有する。

平成 23 年 3 月 25 日、皇居において、天皇陛下に信任状を捧呈しました。